

令和6年12月11日

芦屋市企画部市民参画・協働推進課
課長 小川 智端子様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしやNPOセンター
事務局長 橋野 浩美

ソーシャルナイト～夜の交流会～事業報告書

- 1 実施日：12月8日（日）16：00～18：30 会議室 C、D 室
- 2 担 当：株本就子 金子美保
- 3 参加者：17人
- 4 ゲスト：津久井 進氏（弁護士・兵庫県弁護士会所属・日本災害復興学会理事）
西 智弘氏（医師・一般社団法人プラスケア）
- 5 目 的：災害ケースマネジメントと社会的処方への学びから課題などを共有し、市民の方々との交流の場とする。
- 6 内 容：津久井氏、西氏のトークセッションの後、意見交換、交流の場
- 7 アンケートおよび感想より抜粋（回答数：11）
 - ・交流の場で意見交換、情報交換ができてよかった。
 - ・様々な活動の方とフラットに出会え、気軽に話せる場であった。
 - ・地域のつながりの重要性を再認識した。
- 8 振り返り
 - ・グラレコによる第1部の振り返りを取り入れたことでスムーズにトークセッションを行うことができた。
 - ・トークセッションという形は初めての試みであったが、参加者との距離が近いこともあり、全員で共有している雰囲気となった。
 - ・参加者は自身で活動をしている方が多く、情報交換やつながりの場となった。
 - ・学生参加者の取組みや体験からの意見交換や社会的処方に共感されている参加者との交流と繋がりがみえた。
 - ・個々の持つ地域課題の共有とつながりができ、市民活動への意欲を高める効果があった。
 - ・会場設営は、対談から交流の場への流れも良かった。立食形式で軽食も食べやすさを考え準備してもらえたため、参加者が動きやすく交流できていた。マイクの電源部分の接触が悪く、マイクなしでの対談となった。

